

桜島の火山活動 —1999年10月～2000年1月—

Volcanic Activity of Sakurajima Volcano
—October 1999—January 2000—

鹿児島地方気象台
Kagoshima Local Meteorological Observatory, JMA

1. 活動の概要

今期間、桜島南岳の活動は活発で、1999年10月～2000年1月の噴火回数は266回、爆発回数は200回であった。特に12月は活発で、月間104回の噴火、うち88回の爆発があった。この月爆発回数88回は1955年の観測開始以降では1974年6月の93次に次ぐ回数であった。第1図に1970年1月から2000年1月までの月別爆発回数を示す。2000年1月の噴火回数は82回、うち爆発は58回である。また10月以降の200回の爆発では、体感空振155回、爆発音27回、噴石27回と火山雷147回を観測している。特に、12月10日05時55分の爆発では、1,000mの火柱を伴い多量の噴石を4合目まで飛散し、最大径4cmの火山れきが島内の県道に落下した。1,000mの火柱は1991年7月13日以来である。噴石は10月と11月はそれぞれ2回だったが、12月は13回、1月は10回であった。なお、噴煙の最高高度は火口上2,600m（11月5日）であった。

第2図に1970年1月から2000年1月までの月別地震回数（B点）を示す。B点における地震回数は1999年1月から4月は月回数が約200～500回だったのが、5月から9月は約1,000回に増加し、10月以降は約1,700回となった。特に10月30日19時頃から31日06時頃にかけて群発地震活動があり、約450回の地震が発生した。また、第3図に1982年1月から2000年1月までのA型地震の月別回数（A点）を示す。1999年5月から7月にかけて回数は増加したが、今期間は減少した。

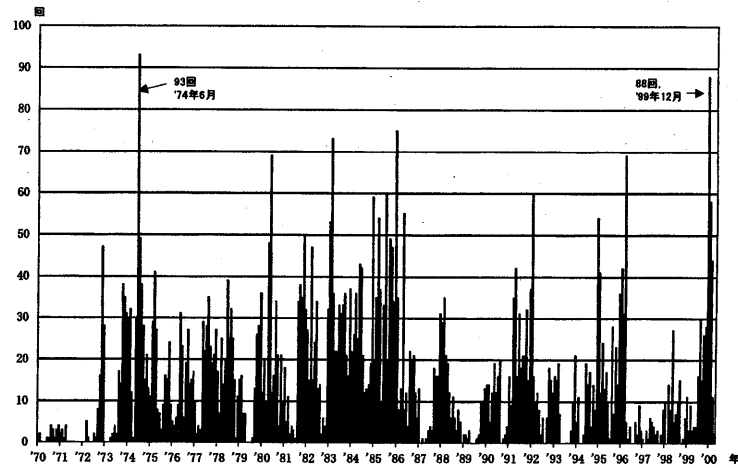
第4図に1987年1月から2000年1月までの月別微動回数（A点）、第5図に1982年1月から2000年1月までの月別微動時間（B点）を示す。いずれも今期間増加した。

鹿児島地方気象台は、10月19日に海上自衛隊の協力を得て航空機により上空から火口観測を行った。火口の深さは推定250mで、A火口底は火山灰が堆積し、B火口は溶岩頭が露出しているのを観測した。

2. 火山情報の発表経過

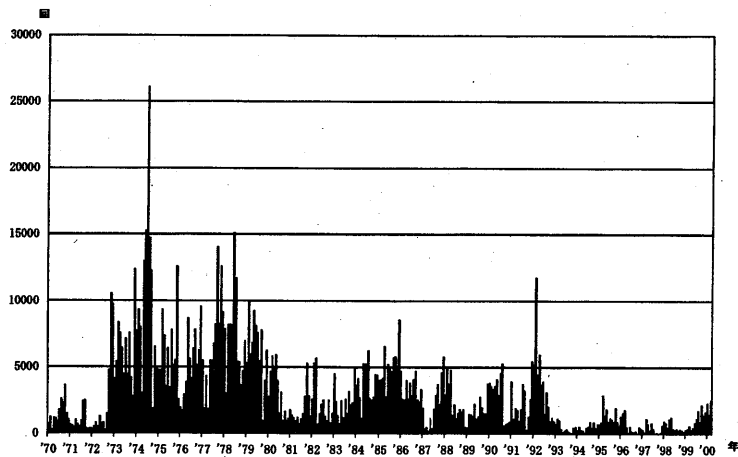
本期間（1999年10月～2000年1月）、鹿児島地方気象台が発表した火山情報は以下のとおりである。

- ・臨時火山情報 第1号 1999年10月31日
第2号 1999年12月10日
- ・火山観測情報 第1号 1999年11月5日～第15号 12月28日
第1号 2000年1月4日～第4号 1月24日



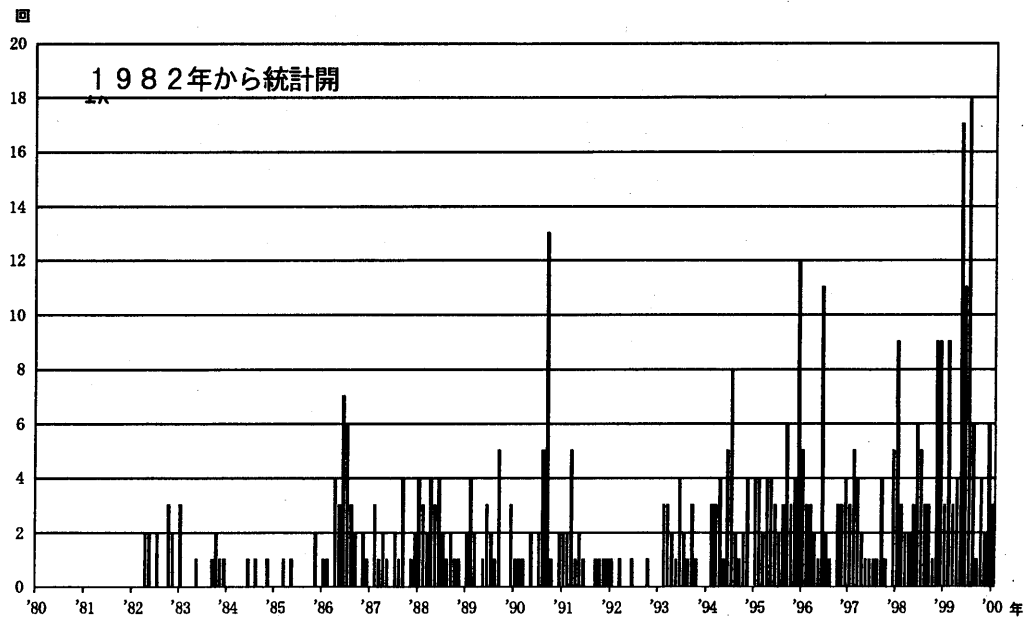
第1図 桜島の月別爆発回数 (1970年1月～2000年1月)

Fig.1 Monthly frequency of explosion at Sakurajima volcano. (Jan. 1970-Jan. 2000)



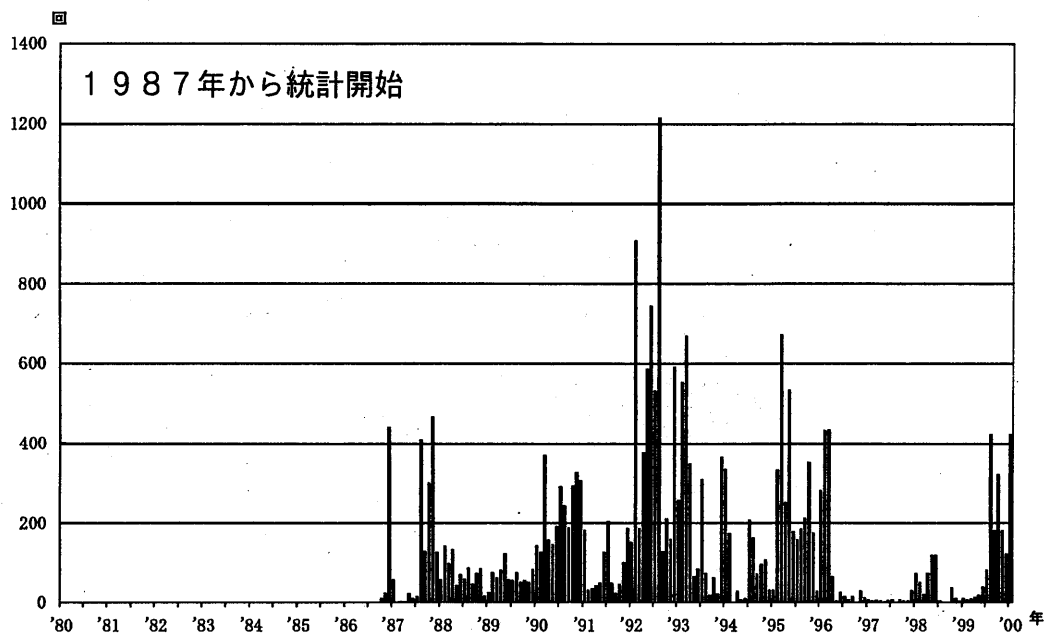
第2図 桜島 (B点) の月別総地震回数 (1980年1月～2000年1月)

Fig.2 Monthly frequency of volcanic earthquakes at Sakurajima volcano. (Jan. 1970-Jan. 2000)

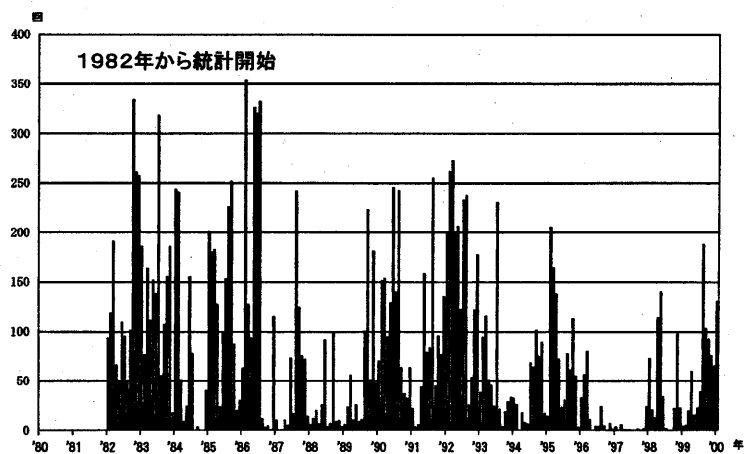


第3図 桜島 (A点) のA型地震月別回数 (1982年1月～2000年1月)

Fig.3 Monthly frequency of A type earthquakes at Sakurajima volcano. (Jan. 1982-Jan. 2000)



第4図 桜島（A点）の月別微動回数（1987年1月～2000年1月）
Fig.4 Monthly frequency of volcanic tremors at Sakurajima volcano. (Jan. 1987–Jan. 2000)



第5図 桜島（B点）の月別微動時間（1982年1月～2000年1月）
Fig.5 Monthly hour of volcanic tremors at Sakurajima volcano. (Jan. 1982–Jan. 2000)